

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社  
create coating solutions

2023年 8月8日

# 第1四半期業績

当社は、2022年8月8日付で連結子会社であった吉奥馬科技（無錫）有限公司の全出資持分を譲渡したことに伴い、前第1四半期累計期間までは連結決算でありましたが、前第2四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。本資料はすべて単体の数値（参考情報含む）で作成しております。

（参考値）

単位：百万円	2023.6		2022.6		前年同期比		2023.3	前四半期比	
	(1Q-FY24)	(1Q-FY23)	増減	増減率	(4Q-FY23)	増減	増減率		
売上高	1,090	1,478	△ 388	△ 26.3%	1,205	△ 115	△ 9.5%		
営業利益	△ 173	105	△ 278	-	△ 251	78	-		
（営業利益率）	△ 15.9%	7.1%	-	-	△ 20.8%	-	-		
経常利益	△ 141	164	△ 305	-	△ 246	105	-		
四半期純利益	△ 167	160	△ 327	-	△ 246	79	-		
1株あたり 四半期純利益(円)	△ 21.18	20.31	△ 41.49	-	△ 31.21	10.03	-		
加工高	956	1,294	△ 338	△ 26.1%	1,028	△ 72	△ 7.0%		

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

# 財務概要

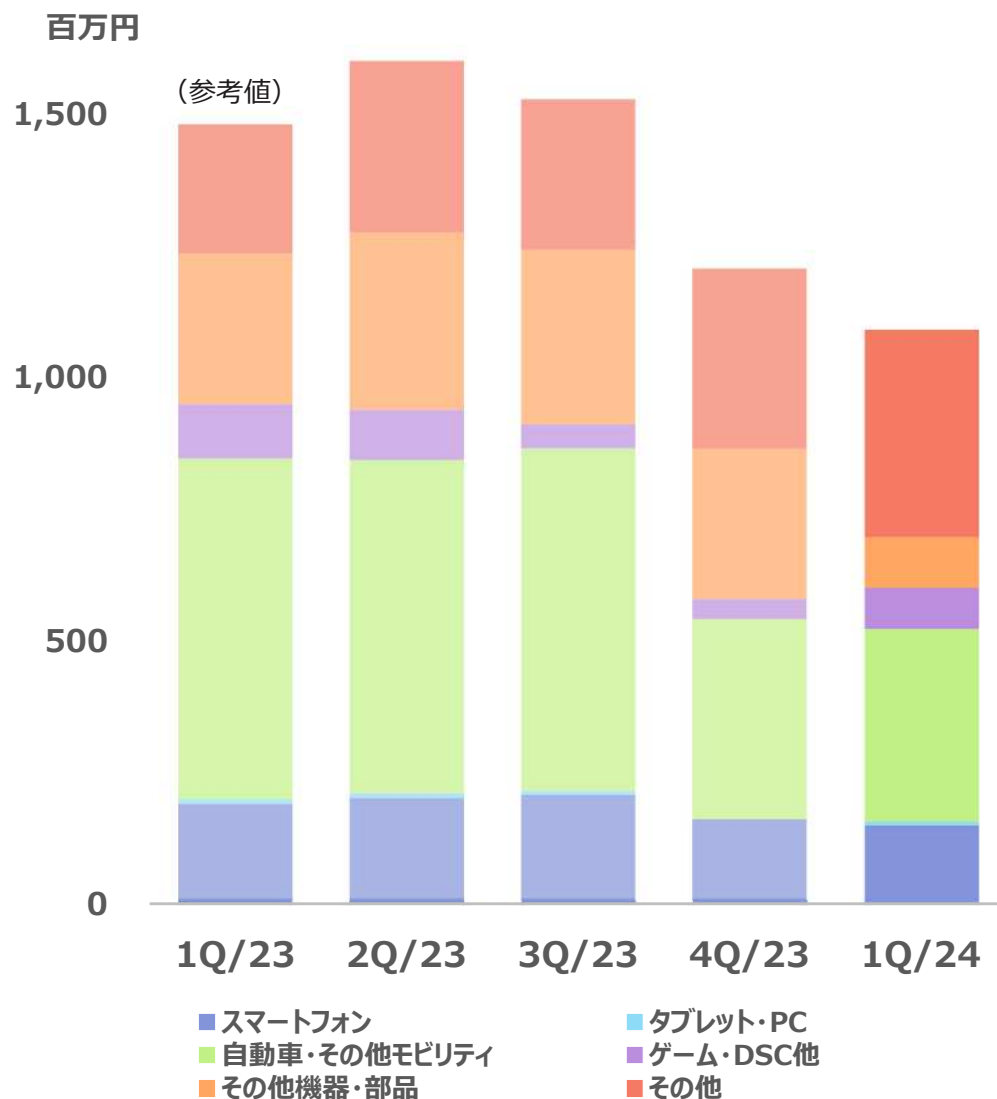
単位：百万円	2023.6	2023.3	増減
<b>流動資産</b>	<b>11,537</b>	<b>12,724</b>	<b>△ 1,187</b>
現金・預金	4,200	5,274	△ 1,074
受取手形・売掛金	4,237	4,045	192
電子記録債権	443	560	△ 117
棚卸資産	2,065	2,259	△ 194
その他	592	586	6
<b>固定資産</b>	<b>5,263</b>	<b>4,700</b>	<b>563</b>
有形固定資産	2,563	2,586	△ 23
無形固定資産	108	81	27
投資その他	2,591	2,032	559
<b>合計</b>	<b>16,800</b>	<b>17,425</b>	<b>△ 625</b>

単位：百万円	2023.6	2023.3	増減
<b>負債</b>	<b>6,773</b>	<b>7,291</b>	<b>△ 518</b>
支払手形・買掛金	4,095	4,360	△ 265
借入金等	1,881	2,077	△ 196
その他	797	854	△ 57
<b>純資産</b>	<b>10,026</b>	<b>10,133</b>	<b>△ 107</b>
株主資本	9,798	9,966	△ 168
評価・換算差額等	228	167	61
<b>合計</b>	<b>16,800</b>	<b>17,425</b>	<b>△ 625</b>

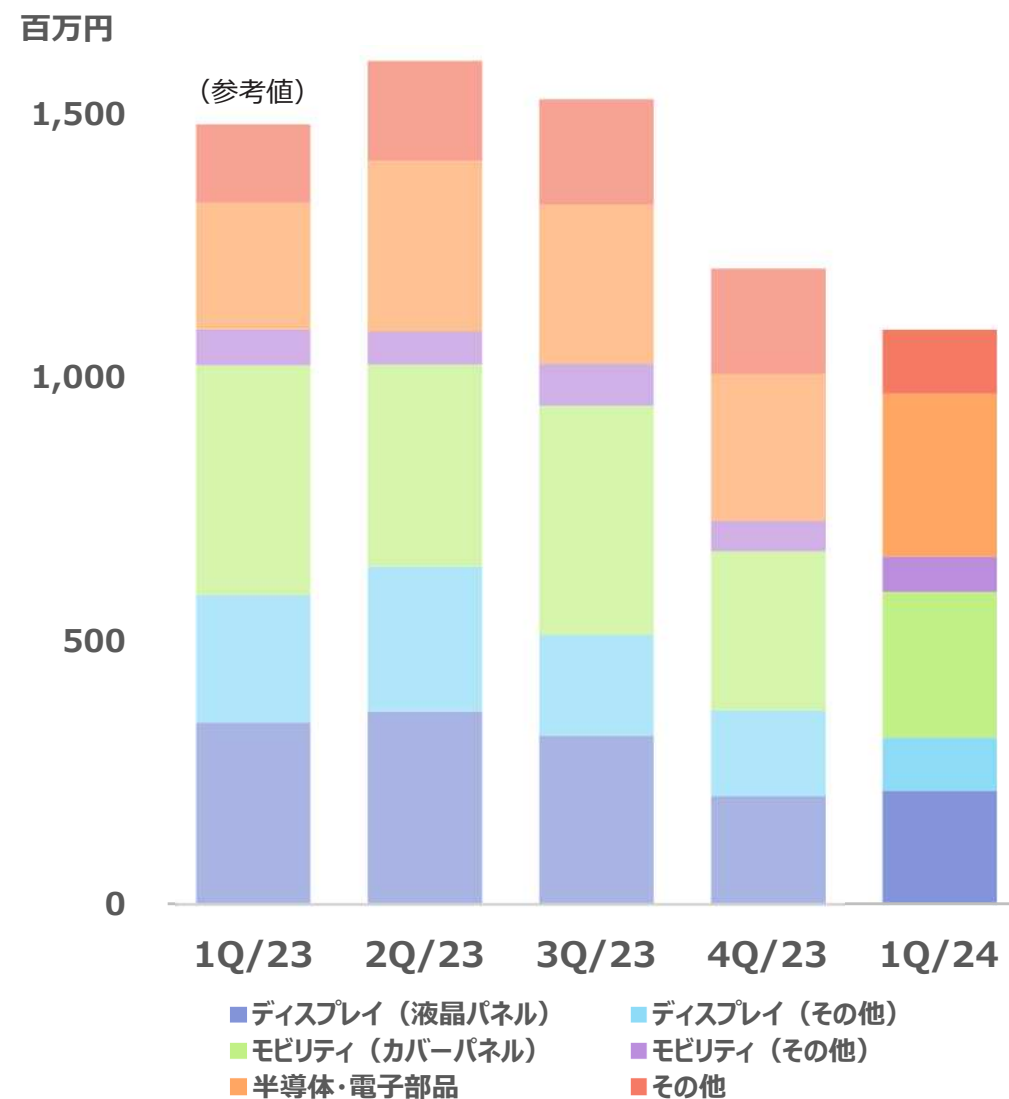
<b>自己資本比率</b>	<b>59.7%</b>	<b>58.2%</b>	<b>1.5pt</b>
<b>1株あたり純資産(円)</b>	<b>1,267.55</b>	<b>1,281.10</b>	<b>△ 13.55</b>

# 四半期売上実績

## 最終製品別売上高推移



## 品目別売上高推移



# 2024年3月期 業績見通し

単位：百万円

	2024/3					2023/3
	通期計画	H 1 計画	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,800	2,600	3,200	▲ 12	▲ 0.2%	5,812
営業利益	10	▲ 250	260	▲ 56	▲ 84.8%	66
営業利益率	0.2%	▲ 9.6%	8.1%	-	-	1.1%
経常利益	40	▲ 230	270	▲ 100	▲ 71.4%	140
当期純利益	26	▲ 237	263	392	-	▲ 366

加工高	4,650	2,150	2,500	▲ 366	▲ 7.3%	5,016
研究開発費	330	-	-	27	8.9%	303
設備投資額	540	-	-	241	80.6%	299
減価償却費	390	-	-	26	7.1%	364

## 1. 営業外収益（為替差益、受取報奨金）

為替相場の変動による為替差益 9 百万円を営業外収益に計上いたしました。  
これは主に当社が保有する外貨建資産に対し、為替相場が前期末と比較し円安に推移したことにより発生したものであります。

また、電力会社が行った「冬の節電チャレンジキャンペーン」参加による電力使用量削減に対する達成特典 8 百万円を受取報奨金として営業外収益に計上いたしました。

## 2. 特別損失（固定資産除却損）

当社が所有する社員寮について、老朽化の進行と利用者の減少に伴い賃貸用住宅への建替えを実施することいたしました。これにより当該建物の取り壊しに伴って発生した固定資産除却損 22 百万円を特別損失に計上いたしました。

## 経営環境

当社主要分野の一つ液晶パネル関連製品の提供先であるスマートフォン市場において、製品のライフサイクル長期化に伴う市場全体の成長鈍化や、搭載ディスプレイパネルの有機EL化の加速により、液晶パネル関連製品の需要は低迷しております。

また、このような構造的な環境変化に加え、米中関係の悪化と世界的な半導体不足によるスマートフォン自体の減産、更にはウクライナ紛争や円安進行に起因するエネルギー及び原材料価格の高騰など、当社を取り巻く経営環境は一層厳しさを増している状況にあります。

## 対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

### 1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の3重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

### 2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

### 3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

### 4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が生き生きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

## ・ 情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

## ・ 将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

## ・ 投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

## ・ 情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。